

令和5年度わな捕獲技術向上研修事業

受講者募集要領

令和5年度に実施するわな捕獲技術向上研修事業について、受講者を以下の要領で募集します。

1. 研修目的

近年、野生動物による農林業被害、森林生態系被害等の増加に伴い、捕獲の重要性が高まっています。しかし、高い捕獲技術を有する狩猟者の減少と高齢化は深刻であり、捕獲の新たな担い手の確保と技術向上が急務であります。

そこで、最近増加傾向にあるわな猟免許取得者のうち、わな免許を取得して間もない方、わなによる捕獲技術の向上を求める方を対象に、技術指導経験を有する指導員によるニホンジカやイノシシの捕獲に関する研修会を開催し、狩猟者の捕獲技術の向上を図ることで、捕獲数の増加を目指します。

2. 研修について

本研修は、育成コース及び実践コースにより構成されています。各研修の詳細は別添1のとおりです。本研修の受講にあたっては、本要領「5.受講申込」による申込書の提出が必要です。

3. 受講者の要件

<育成コース>

① 初級研修

- ・狩猟免許を取得してから概ね10年を経過していない者。

② 中級研修

- ・今年度もしくは過去の初級研修を受講した者。
- ・今年度わな猟の狩猟者登録を行う者。

③ 実践研修

- ・今年度もしくは過去の初級研修を受講した者。
- ・今年度わな猟の狩猟者登録を行う者。

<実践コース>

① 初級研修

② 現地研修

- ・自身の捕獲技術の向上を目指す者。
- ・わなを設置できる場所が確保できる者。
- ・有害捕獲の許可を受けている者又は今年度わな猟の狩猟登録を行っている者。

4. 受講料

受講料は無料です。（参加に伴う交通費、昼食代等は参加者負担です。）

ただし、中級研修で作成するくくりわな1基分の作成費用（5,000円）、簡易電気殺処分器の作成費（13,000円）は受講者負担とし、研修当日に徴収します。

5. 受講申込

申込書に必要事項を記入のうえ、メールまたは郵送で下記宛てに提出して下さい。
申込様式は、和歌山県農業環境・鳥獣害対策室 HP からダウンロードできます。

(URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/index.html>)

なお、申込書に記載の個人情報は、県及び本研修事業の受託事業者である株式会社野生鳥獣対策連携センターが利用しますが、本研修以外の目的で利用することはありません。また、申込書は返却いたしませんのでご了承ください。

■ 提出書類

(1) 初級研修および中級研修の受講を希望される方

① 令和5年度わな捕獲技術向上研修<育成コース>申込書（別紙様式1）

(2) 実践研修の受講を希望される方

① 令和5年度わな捕獲技術向上研修<育成コース>申込書（別紙様式1）

② わな猟狩猟免状の写し1部

(3) 現地研修の受講を希望される方

① 令和5年度わな捕獲技術向上研修<実践コース>申込書（別紙様式2）

② わな猟狩猟免状の写し1部

■ 提出先

【メールの場合】

wakayama@cho-jyu.jp

わな捕獲技術向上研修 受付担当まで

【郵送の場合】

〒669-3811

兵庫県丹波市青垣町佐治 94 番地-2 株式会社野生鳥獣対策連携センター 宛

※封筒に「令和5年度わな捕獲技術向上研修事業受講申込書在中」と朱書きしてください。

各研修共通の申込時の注意事項

- 育成コースもしくは実践コースのどちらかのみを受講となります。
(初級研修は育成コース、実践コースともに同じ内容です)
- 定員を超える応募があった場合は、選考のうえ受講者を決定します。
- 今年度中にわな猟免許を取得予定の場合には、狩猟免許が手元に届き次第、その写しを速やかに送付してください。(実践研修および現地研修に参加される方のみ)

<育成コース>へ申込時の注意事項

- 初めて受講される方は、中級研修または実践研修のみの受講はできません。必ず初級研修を受講していただく必要があります。
- 過去に本研修を受講された方は、中級研修、実践研修のみの受講が可能です。
- 同時に複数の研修を受講していただくことも可能です。

- 初級研修未受講者は初級研修の受講が必須です。
- 初級研修の申込をした、もしくは過去に受講した方は中級研修と実践研修を同時に受講することも可能です。
- 中級研修は、2日連続で研修を行うため、どちらかの日程(11/11-12もしくは11/25-26)のみの申込みとなります。なお、2日連続での参加が望ましいですが、難しい場合はどちらか1日のみの参加も可能です。

<実践コース>へ申込時の注意事項

- 育成コースが未受講でも本コースへの受講が可能です。
- 初級研修の受講は任意です。
- 現地研修は初級研修未受講でも申込が可能です。

6. 応募期間

令和5年8月28日(月)～9月15日(金) (当日消印有効)

7. 受講者の決定

受講者には、9月22日(金)までに受講決定の旨を通知します。

8. お問い合わせ先

- 株式会社野生鳥獣対策連携センター

〒669-3811

兵庫県丹波市青垣町佐治 94 番地-2

電話 0795-78-9800

- 和歌山県 農林水産部 農業生産局 果樹園芸課 農業環境・鳥獣害対策室

電話 073-441-2906

育成コース【初級研修】

1. 日時・場所

下記の日程のうち、受講を希望する会場を1カ所選択してください。

日時	場所	所在地	定員
9月30日(土) 13:00~17:00	日高川町農村環境改善 センター (川辺公民館)	日高川町小熊 2416	20名
10月1日(日) 10:00~15:00	いろり館 (旧:南紀月の瀬温泉 ぼたん荘)	古座川町月野瀬 881-1	20名
10月8日(日) 13:00~17:00	丸栖コミュニティ センター	紀の川市貴志川町 丸栖 658	20名

2. 研修内容

下記の内容について、屋内での座学研修及び屋外での実習を行います。

(1)箱わな・くくりわなを用いた捕獲技術 (座学)

わな猟で捕獲を成功させるためのポイントを、わなの模型や動画等を使用して解説します。

(2)安全な止めさしについて (座学)

捕獲個体を安全に止めさしする方法について動画を使用して解説します。

(3)わな猟における安全管理 (座学)

わな猟を安全に行うために気を付けなければいけないことを解説します。

(4)痕跡探索実習 (屋外実習)

屋外でシカやイノシシの痕跡を観察し、わな設置場所の選定方法について解説します。

※実践コースと合同で実施します

【中級研修】

1. 日時・場所

日時	場所	所在地	研修内容※	定員
11月11日(土) 10:00~16:00	日高川町山村開発 センター (美山公民館)	日高川町川原河 225	(1)、(5)	20名
11月12日(日) 10:00~16:00	丸栖コミュニティ センター	紀の川市貴志川町 丸栖 658	(2)~(4)	
11月25日(土) 10:00~16:00	日高川町山村開発 センター (美山公民館)	日高川町川原河 225	(1)~(3)	20名
11月26日(日) 10:00~16:00			(4)~(5)	

※研修内容は捕獲個体の有無によって(1)と(5)を入れ替える可能性があります
※連続日程での参加が難しい場合は、1日のみの参加も可能です。

(例) 11月11日・12日の研修に参加したいが、12日は都合が悪い。

→11日のみの参加も可能。

2. 研修内容

下記の内容について、屋内での座学研修及び作成実習を行います。

(1)捕獲個体の止めさし実習

実際にわなで捕獲されたシカやイノシシに対して、講師の指導の下、受講者が実際に止めさしを行います

(2)簡易電殺器の取り扱いについて (座学)

電殺器を安全に取り扱う方法を実物を使用して解説します。

(3)簡易電殺器の作成 (実習)

講師が作成の手順や注意点を解説しながら、受講者全員が簡易電殺器を1基作成します。

(4)くくりわなの作成 (実習)

講師が作成の手順や注意点を解説しながら、受講者全員がくくりわなを1基作成します。

(5)くくりわな設置実習

受講者全員が屋外でくくりわなを実際に設置します。その後講師が設置方法についてアドバイスを行います

※当日、簡易電殺器及びくくりわな材料費代 17,000 円を徴収します。

作成した電殺器及びくくりわなはそのままお持ち帰りいただけます。

【実践研修】

1. 日時

令和5年11月～令和6年2月のうち1日

2. 研修内容

受講者が実際にわなを設置している現場で、講師が直接わなの設置方法などを指導します。(1人の受講者に対し、1回の指導を予定)

別の受講者の研修にも参加いただけるため、さまざまな環境でのわなの設置方法を学ぶことができます。

3. 定員

12名

実践コース【初級研修】

1. 日時・場所

下記の日程のうち、受講を希望する会場を1カ所選択してください。

日時	場所	所在地	定員
9月30日(土) 13:00~17:00	日高川町農村環境改善 センター (川辺公民館)	日高川町小熊 2416	20名
10月1日(日) 10:00~15:00	いろり館 (旧:南紀月の瀬温泉 ぼたん荘)	古座川町月野瀬 881-1	20名
10月8日(日) 13:00~17:00	丸栖コミュニティ センター	紀の川市貴志川町 丸栖 658	20名

2. 研修内容

下記の内容について、屋内での座学研修及び屋外での実習を行います。

(1)箱わな・くくりわなを用いた捕獲技術 (座学)

わな猟で捕獲を成功させるためのポイントを、わなの模型や動画等を使用して解説します。

(2)安全な止めさしについて (座学)

捕獲個体を安全に止めさしする方法について動画を使用して解説します。

(3)わな猟における安全管理 (座学)

わな猟を安全に行うために気を付けなければいけないことを解説します。

(4)痕跡探索実習 (屋外実習)

屋外でシカやイノシシの痕跡を観察し、わな設置場所の選定方法について解説します。

※育成コースと合同で実施します

【現地研修】

1. 日時

令和5年9月～令和6年2月のうち1日

2. 研修内容

受講者が実際にわなを設置している現場で、講師が直接わなの設置方法などを指導します。(1人の受講者に対し、1回の指導を予定)

別の受講者の研修にも参加いただけるため、さまざまな環境でのわなの設置方法を学ぶことができます。

3. 定員

12名